

対ザンビア共和国 事業展開計画

2018年 6月 現在

基本方針 (大目標)	鉱業への過度の依存から脱却した多角的かつ強靱な経済成長の促進
---------------	--------------------------------

重点分野 1 (中目標)	産業の活性化											
開発課題 1 (小目標) 産業の多様化・活性化のための支援	【現状と課題】 ザンビアにおいては、経済の多角化とそれに伴う雇用機会の拡大による経済成長が求められているが、農業の他に雇用吸収力の高い産業は未発達である。第6次国家開発計画では製造業、第7次国家開発計画では観光業や情報通信技術などの産業に重点が置かれており、これらの産業及び発展の可能性のある産業の活性化のためには、民間企業の生産性や競争力を向上するような取組みが求められている。 さらに、国内外からの分野横断的な投資拡大のためには、政府の安定的な財政運営も含む投資環境の整備が重要である。					【開発課題への対応方針】 ザンビア国内において、農業以外に雇用吸収力の高い単一の産業は現時点では見当たらない。第7次国家開発計画においては観光業や情報通信技術などの産業の多角的振興を図っていくこととしているが、同時に民間セクター全体の底上げも必要であることから、特定の産業に焦点を絞るのではなく、幅広い産業を対象とし、カイゼンアプローチの導入等を通じて、生産性向上や競争力強化を図るための環境整備を行う。また、政府の財政運営安定化も含めた投資環境整備や企業家育成を含む産業人材の育成にかかる支援を行う。						
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
					201 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度		
	民間セクター開発 プログラム	民間企業の生産性の向上や競争力強化のため、民間企業の経営資源である「人材」に着目した支援を行う。具体的には、技術協力を軸に、民間セクター開発に携わる行政官の政策実施能力の強化と、企業向けビジネス支援サービス(カイゼンアプローチの導入など)を提供する支援機関の能力強化を支援する。また、国内外からの投資の促進のため、政府の財政運営安定化を支援する。	品質・生産性向上(カイゼン)展開プロジェクトフェーズ2	技プロ							3.62	
			投資促進アドバイザー	個別専門家								
			半貴石加工技術による小規模事業者の収益向上案件化調査	中小企業支援								
			アフリカの若者のための産業人材育成(ABE)イニシアティブ	国別研修								
		民間セクター開発分野の青年海外協力隊/シニア海外ボランティア	JOCV/SV									
		民間セクター開発分野の課題別研修他	課題別研修他									

重点分野2 (中目標)	経済活動を支えるインフラ整備・社会サービスの向上												
開発課題 (小目標) インフラの整備	【現状と課題】 ザンビアでは、物流や安定的な電力の供給のためのインフラが未だ十分に整備されておらず、このことが流通コストや生産コストの上昇を招き、産業の活性化を妨げる要因の一つとなっている。また、特に内陸国であるザンビアにおいては国際回廊の整備の遅れが国際競争力強化の大きな阻害要因となっており、これらインフラの整備が必要である。					【開発課題への対応方針】 電力の安定的な供給に対する支援や、産業が集積し複数の回廊の結節点となっているルサカの都市交通の整備等、インフラ整備を行い、国内産業の流通・生産コストの低減及び生産性の向上に貢献する。また、国際市場へのアクセス改善という観点から、国際回廊のインフラ整備を支援する。							
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
	インフラ整備 プログラム		カズングラ橋建設事業		有償							28.77	
			橋梁維持管理能力向上プロジェクト		開発計画	—						2.20	
			橋梁維持管理能力向上プロジェクト フェーズⅡ		技プロ		-----						
			運輸・都市計画分野の課題別研修ほか		課題別研修他	—							
			電力アクセス向上事業		有償	—						55.11	
			南部地域送電網整備事業協力準備調査		協準	—							
			ナカラ回廊総合開発(ザンビア・マラウイ)にかかる情報収集・確認調査		情報収集調査	—							
エネルギー分野の課題別研修他			課題別研修他	—									

【現状と課題】
 持続的な経済成長の基礎となる教育・人材育成、保健及び給水衛生サービスといった社会サービスは未だ不十分である。教育セクターは、就学率は初等で90%を超えたが授業時間は1日約4時間しか確保できておらず、東南部アフリカ地域の学力調査でも最下位になるなどいまだ改善が必要である。保健セクターにおいては、5歳児未満死亡率や乳幼児死亡率、妊産婦死亡率などの指標は改善傾向だがMDGsは未達成であり、一次医療の強化や安全な水へのアクセス向上など引き続き改善が必要である。さらに、近年の近隣国におけるエボラ出血熱のアウトブレイクなど、国境を越えた感染症が頻発している状況を踏まえ、感染症の早期発見、対応のための体制整備も急務となっている。

【開発課題への対応方針】
 社会サービスを充実させることで、中長期的な経済成長の礎を築くことを目指す。教育・人材育成分野については、「平和と成長のための学びの戦略」の下、子どもの学びの改善のために理数科教育の質の向上等に対する支援を行う。保健分野については、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成のために、住民が質の高い基礎的保健サービスを受けられるようにするための体制整備（一次レベル病院整備や地方の保健局の体制強化）に対する支援を行う。また、感染症等の公衆衛生危機に対する対応能力強化に必要なサーベイランスシステムの構築や近隣国とのネットワーク強化、研究者や技術者の育成に対する支援を行う。さらに、水因性疾患が引き続き多い現状を踏まえ、特に都市部における安全な水へのアクセス向上に対する支援を行う。

協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
				2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度		
教育・人材育成分野プログラム	理数科教員の能力強化及び初等算数の学力向上を中心とした基礎教育の質の向上等を支援する。	教育政策アドバイザー	個別専門家	—							
		教員養成校と学校現場との連携による教員の質改善プロジェクト	技プロ						4.50		
		アフリカ域内理数科教育における授業研究の知見を通じた教授法の改善	第三国研修								
		教育分野の青年海外協力隊/シニア海外ボランティア	JOCV/SV								
		教育分野の課題別研修他	課題別研修他								
保健分野プログラム	医療施設整備や郡保健局の体制強化及び感染症に対する対応能力の強化を支援する。	ユニバーサルヘルスカバレッジ達成のための基礎的保健サービスマネジメント強化プロジェクト	技プロ							3.89	
		保健施設センサスに基づく保健投資計画能力強化プロジェクト	技プロ							2.43	
		第二次ルサカ郡病院整備計画	無償							40.77	
		アフリカにおけるウイルス性人獣共通感染症の調査研究プロジェクト	科学技術							4.10	
		ザンビアにおける鉛汚染のメカニズムの解明と健康・経済リスク評価手法および予防・修復技術の開発	科学技術							4.05	
		感染対策塗料（防蚊塗料・抗ウイルス塗料）の普及促進事業	民間提案型技協								
		保健分野の青年海外協力隊/シニア海外ボランティア	JOCV/SV								
		保健分野の日本NGO連携無償資金協力	日本NGO							1.78	
		保健分野の課題別研修他	課題別研修他								
		経済社会開発計画	無償							5.00	

開発課題2
 (小目標)
 社会サービスの充実

給水・衛生分野プログラム	都市給水のインフラ強化及び水道公社の運営能力向上を支援する。	上水道運営維持管理能力強化プロジェクト	技プロ	—	—								
		ルサカ上水道改善事業協力準備調査	協準	—									
		給水衛生分野の課題別研修他	課題別研修他	—									

重点分野3 (中目標)	その他												
----------------	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

その他	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考			
					2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度					
	その他個別案件		難民及び援助対象者への保護及び支援	マルチ	—							1.55	国際連合難民高等弁務官事務所 (UNHCR)		
			持続可能な再定住地(副大統領府再定住局への技術及びキャパシティ支援)	マルチ	—								0.09	国際連合開発計画 (UNDP)	
			持続可能な再定住地(再定住地のマッピング及び住居建設支援等)	マルチ	—								0.25	国際連合人間居住計画 (UNHABITAT)	
			持続可能な再定住地(学校, 保健施設の修繕・建設及び井戸の掘削等)	マルチ	—								0.61	国際連合児童基金 (UNICEF)	
			元難民現地統合支援アドバイザー	個別専門家	—	—									
			元難民現地統合に係る基礎情報収集・確認調査	基礎情報収集・確認調査	—										
			ザンビア共和国北西部州元難民現地統合対象地域における水衛生管理を通じたコミュニティの基盤づくり	草の根技協	—	—							0.72		
			元難民現地統合支援に係る研修	国別研修	—										
			教育、保健及び給水衛生分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	—								0.74		
			小型無人航空機(ドローン)を用いた物流サービスの普及促進事業	民間提案型技協	—								0.20		

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別機材)、「個別機材」(=個別機材)、「国別研修」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=青年海外協力隊)、「SV」(=シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」(=第三国専門家)、「第三国研修」(=現地国内研修)、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(=水産無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「情報収集調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「中小企業支援」(=中小企業海外展開支援事業「基礎調査」、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに中小企業連携促進基礎調査)、実線「—」(=実施期間)、破線「- - -」(=実施予定期間)